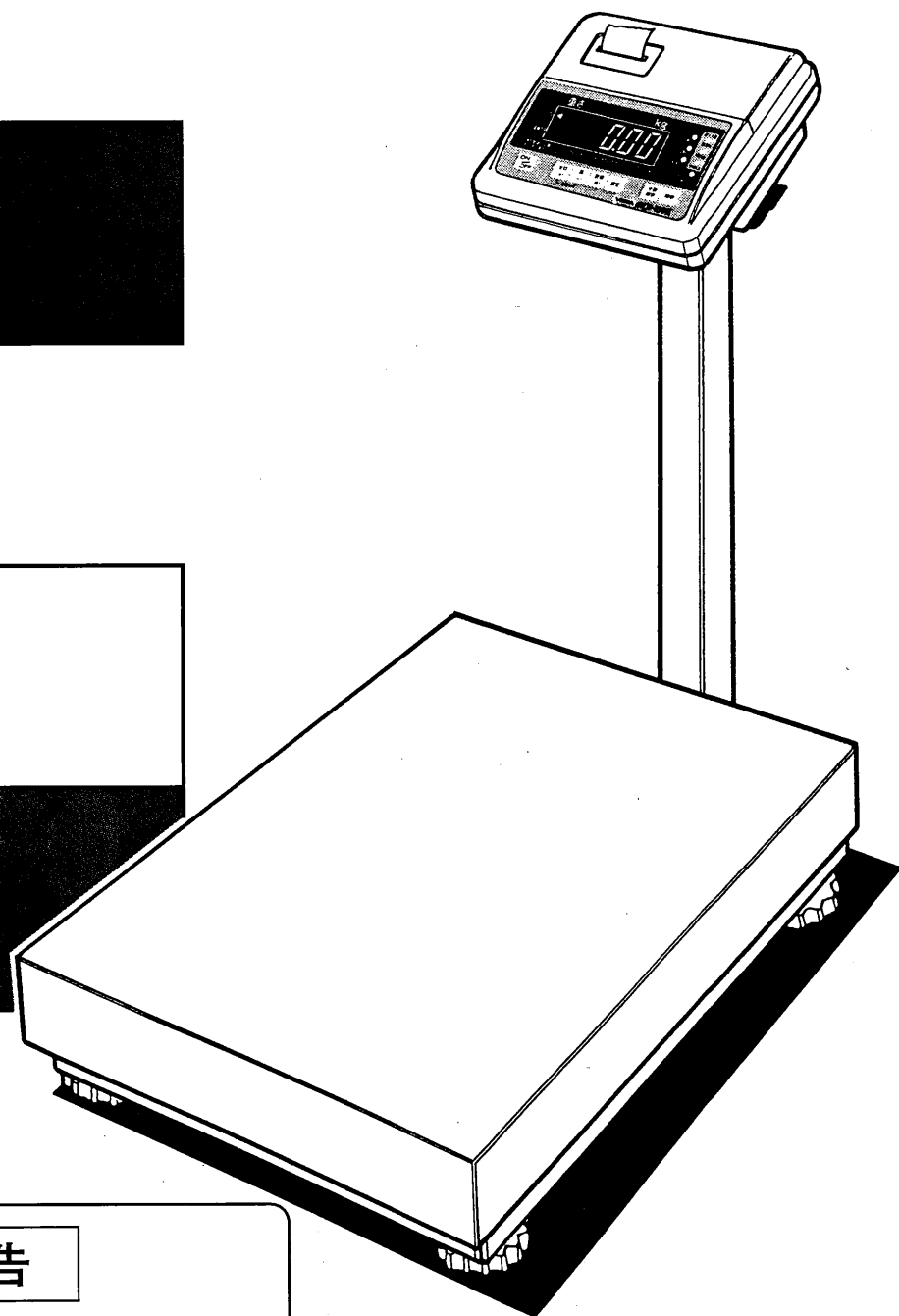


デジタル重量台秤

ARX-30K・150K

取扱い説明書



⚠ 警告

- この説明書を読み、理解するまでは、据付、操作および保守・点検を行わないでください。
- この説明書は、機械の据付、操作および保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

VIBRA

はじめに

このたびは、ARX-30K・150Kをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ARX-30K・150Kは、3つのひょう量切替えができるデジタル重量台秤です。

重量検品に威力を発揮するチェッカー機能や、カウンティング機能を持ち、幅広くご利用いただけます。

当製品の機能や使用方法を十分にご理解いただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書をお読みください。

なお、この取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。

目次

| | | |
|---------------------|-------|-----|
| 1. ご使用になる前に | | 1~2 |
| 2. 計量のしかた | | 3 |
| 3. チェッカー機能 | | 4~5 |
| 4. カウンティング機能 | | 6 |
| 5. プリンター内蔵タイプご使用の場合 | | 7~9 |
| 6. 故障かな?と思ったら | | 10 |
| 7. 標準仕様 | | 11 |

おねがい

- 本書の内容の無断転載を禁じます。
- 製品の改良により、仕様や外観を変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書でご不明な点や誤りなどお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。
- 機器・システムの本体トラブルについては、個々のメンテナンス契約に準じた対応をさせていただきますが、本体トラブルによる作業ストップ等の副次的トラブルについては、その責任を負いかねますのでご了承ください。

新光電子株式会社
1995年

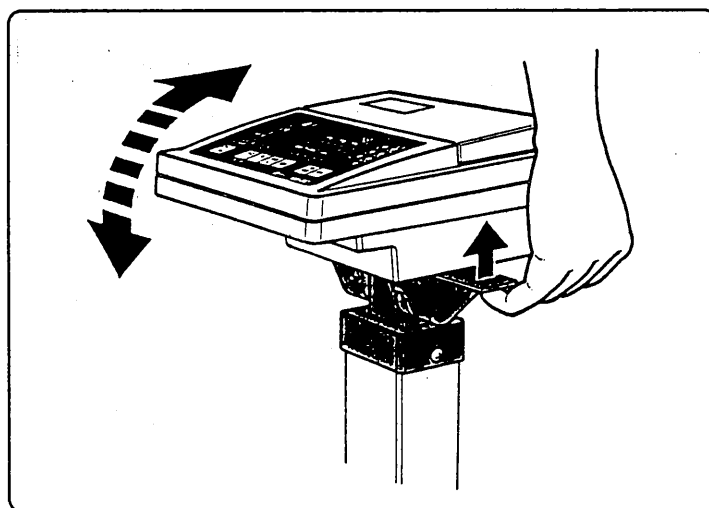
1. ご使用になる前に

ご使用上の注意

1. 精密機械ですから、急激なショックを与えないでください。
2. 計量皿に物をのせたまま放置しないでください。
3. 故障のもとになりますから、絶対に分解しないでください。
4. 下記の場所でのご使用は避けてください。
 - (a) 温度変化の激しい所
 - (b) 直射日光の当たる所
 - (c) 湿度の高い所
 - (d) ほこりの多い所
 - (e) 強い風が当たる所
 - (f) 不安定な台や振動の激しい所
5. 電源はAC-100Vを使用します。
1つのコンセントに多数のプラグをつないだり、大消費電力の機器などと同じコンセントでの使用は避けてください。
6. 本体は必ず水平にしてご使用ください。
7. 本体のお手入れは、柔らかい布でから拭きするか、中性洗剤をご使用ください。シンナーなどは絶対使用しないでください。
8. 持ち運びの際は、必ずハカリ部を持って運んでください。
表示部や支柱だけを持って動かさないようにしてください。

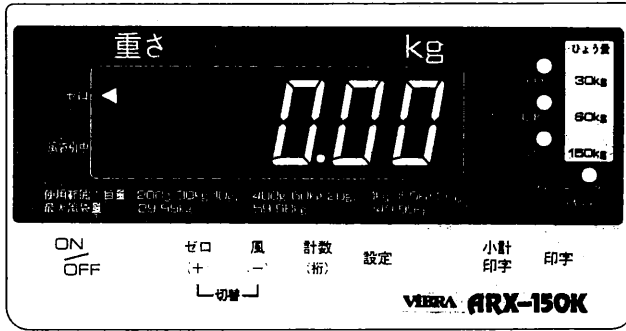
表示部の角度調節

図のようにレバーを引き上げながら、表示部を見やすい角度に調節し、レバーを下ろします。

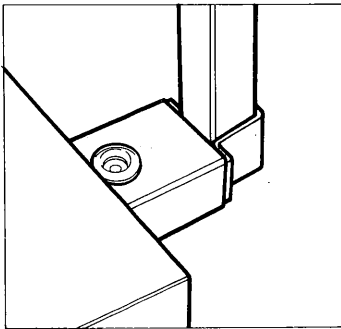


各部の名称

表示部



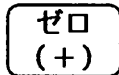
水平器の位置



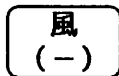
各キーのはたらき



【ON】⇨電源を入れます。
【OFF】⇨電源を切ります。



【ゼロ】⇨ゼロ点を補正し、表示を「0」にします。
【+】⇨上下限値を設定する時、数字をアップします。

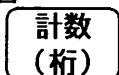


【風】⇨風袋引きをします。風袋をのせてからキーを押します。
【-】⇨上下限値を設定する時、数字をダウンします。

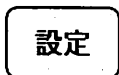


切替

【切替】⇨2つのキーを同時に押すと、ひょう量の切替えを行います。

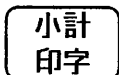


【計数】⇨カウンティングモードに切替えます。カウンティングモードで単位重量を設定する時、サンプル数を切替えます。
【桁】⇨上下限値を設定する時、桁を移動します。

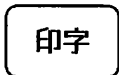


【設定】⇨①上下限値を設定する時、使用します。
②カウンティングモードで単位重量を設定する時、使用します。
③日付を設定する時、使用します。

プリンター内蔵タイプのみ



【小計印字】⇨計量値を小計して印字します。



【印字】⇨計量結果を印字します。

ジャーナルプリンター
(オプション)

表示部

角度調節
レバー

支柱

計量皿

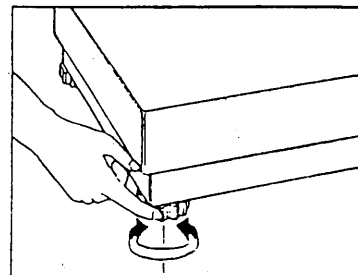
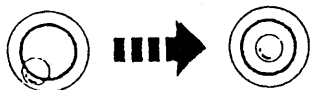
水平調整脚

2. 計量のしかた

【計量モード】

1. 計量の準備

安定した床面または台にのせ、水平器の気泡が丸穴の中心に入るよう、4ヶ所の水平調整脚を回して調整してください。



電源プラグが、AC-100Vコンセントに差し込まれているか確認してください。計量皿に何ものっていないことを確認してください。

2. 電源を入れます

ON/OFF

ゼロ

0.00

(LED)

ひょう量

150kg

表示チェック後、右の表示になります。

ゼロ点マーク (◀) が表示されていない時は、**ゼロ** を押してください。

- ◎参考
- ・ひょう量は、電源を切る前に使用していたひょう量に自動設定されます。
 - ・プリンター内蔵タイプは、電源を入れると日付設定モードになります。(7ページをご参照ください)

3. ひょう量を切替えます

ゼロ

風

(同時に押します)

ゼロ

0.00

ひょう量

60kg

切替

・ひょう量と最小表示が切替わります。

(150kg→60kg)

- 注意
- ・ゼロ点以外のとき、または風袋引中はひょう量の切替えはできません。
 - ・プリンター内蔵タイプは、ひょう量を切替えると自動的に小計印字します。

4. 風袋引きをします

風袋を計量皿にのせ、

風

ゼロ

風袋引中

0.00

・風袋引き解除 ⇨計量皿に何ものっていない状態で **風** を押します。

5. 計量を行います

計量物を計量皿にのせます。

計量値を読みとります。

◀ 50.25

3. チェッカー機能

【上・下限値設定モード】

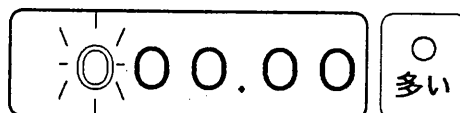
～上・下限値を設定して、重量チェッカーとしてご利用いただけます。

1. 上・下限値を設定します

●参考 ・上・下限の設定値は、電源を切っても記憶しています。
ただし、ひょう量切替えを行った場合、設定値はクリアされます。

■注意 ゼロ点を確認し、風袋引中になっていないか、確認してください。
(ゼロ点以外するとき、または風袋引中はモード切替えできません。)

設定



〈多いマーク表示〉(橙)

1) 上限値を設定します。

点滅している桁の数字を設定します。

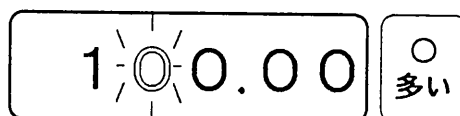
ゼロ
(+)

風
(-)

で数字が1つつアップ・ダウンします。

一番右の桁は、最小表示に応じた設定をします。
最小表示により〈0→2→4→6→8〉〈0→5〉と数字が替わります。

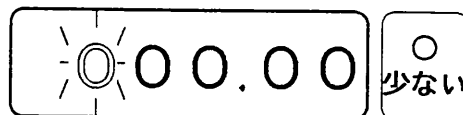
計数
(桁)



数字の点滅は右の桁へ移動します。

上限値を設定したら、

設定



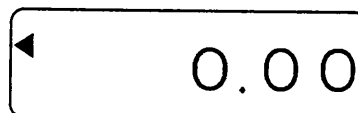
〈少ないマーク表示〉(赤)

●参考 ・設定値がひょう量以上の場合、
設定前の表示に戻りますので、上限値を再設定してください。

2) 下限値を設定します。(上限値の設定と同様)

下限値を設定したら、

設定



《設定完了》

〈計量モードの表示〉

注意 ・ 上限値より下限値が大きい場合は、設定前の表示に戻ります。
下限値を再設定してください。

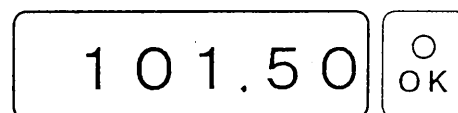
参考 ・ 上限値、下限値どちらかのみを設定も可能です。
・ 下限値もひょう量以上の設定はできません。

2. 計量を行い、重量チェックします

(例：上限値105kg/下限値100kgと設定した場合)

計量物を計量皿にのせます。

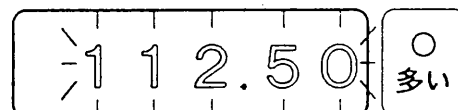
a) 下限値 \leq 計量値 \leq 上限値
(計量値が設定範囲内のとき)



⇒ OKマークが表示され、
そのまま重量が表示されます。

(緑)

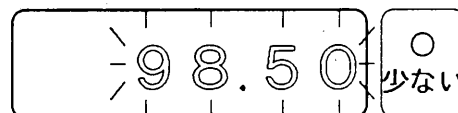
b) 計量値 > 上限値
(計量値が上限値を上回ったとき)



⇒ 多いマークが表示され、
表示全体が点滅し、ブザー音でお知らせします。

(橙)

c) 計量値 < 下限値
(計量値が下限値を下回ったとき)



⇒ 少ないマークが表示され、
表示全体が点滅し、ブザー音でお知らせします。

(赤)

3. 上・下限値の設定を解除する場合

チェッカーとしてご使用にならない時は、

4ページの操作で、上・下限の設定値をともに「0」にしてください。

4. カウンティング機能

【カウンティングモード】

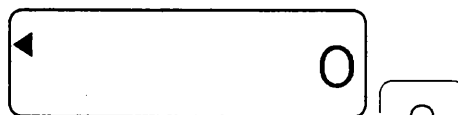
～ワンタッチ切替で、カウンティングスケールとしてもご利用いただけます。

1. カウンティングモードに切替えます

ゼロ点を確認し、風袋引中になっていないか、確認してください。
(ゼロ点以外るとき、または風袋引中はモード切替えできません。)

■注意

計数



◎参考

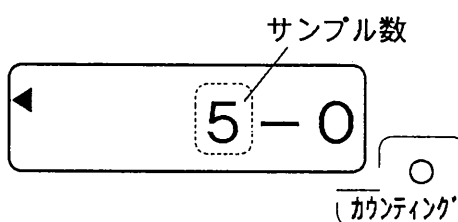
- ・再度「計数」を押すと、計量モードの表示に戻ります。
- ・プリンター連動タイプは、モードを切替えると自動的に小計印字します。

○
カウンティング

2. 単位重量を設定します

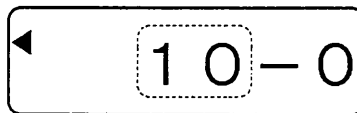
カウンティングモードに切替え、

設定



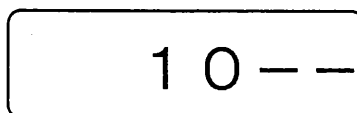
- ・「計数」を押すと、サンプル数が替わります。
(5→10→20→50の4種類)

計数

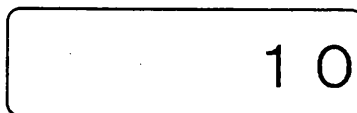


表示されているサンプル数と同数(この場合は10個)の計数物を計量皿にのせ、

設定

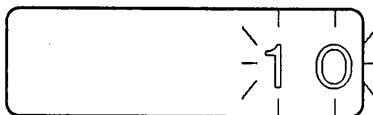


《設定完了》



■注意

・この時、点滅表示したら、
単位重量<最小表示であり、
正確な計数はできません。



- ・サンプルをのせずに「設定」を押すと、
設定されていた単位重量はクリアされます。

◎参考

- ・設定した単位重量は更新しない限り、電源を切っても記憶しています。
ただし、ひょう量を切替えるとクリアされます。
- ・サンプル数を多くすると、計数誤差は少なくなります。

3. 計数を行います

計数物を計量皿にのせます。
⇨個数が表示されます。



5. プリンター内蔵タイプご使用の場合 【オプション】

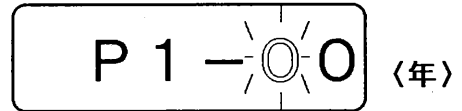
～プリンター内蔵タイプをご使用の場合、計量値を印字・記録することができます。

1. プリンターに印字する日付を設定します

・毎朝必ず日付設定を行ってください。

電源を入れます。

ON/OFF



〈日付設定モード表示〉

●参考 ・日付を変更しない場合は、「設定」を押すと計量モードの表示になります。

1) 年を設定します。

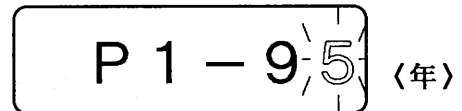
点滅している桁の数字を設定します。

ゼロ
(+)

風
(-)

で数字が1つつアップ・ダウンします。

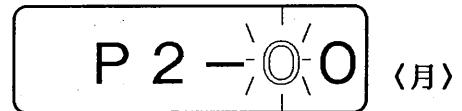
計数
(桁)



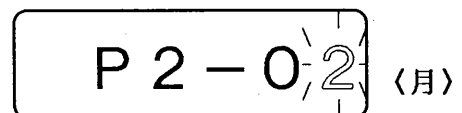
数字の点滅は、右の桁へ移動します。

年を設定したら、

計数
(桁)

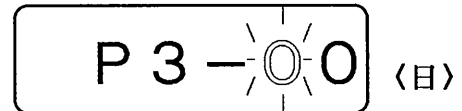


2) 月を設定します。(1の年設定と同様)

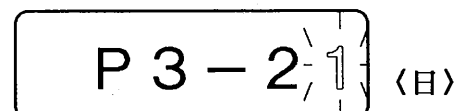


月を設定したら、

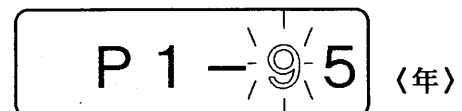
計数
(桁)



3) 日を設定します。(1の年設定と同様)



●参考 ・「計数(桁)」を押すと、1の表示に戻ります。
(年月日の設定の確認ができます。)



年月日の設定を終えたら、

設定

《設定完了》

◀ 0.00

〈計量モードの表示〉

●参考 ・ 設定した日付は、電源を切っても記憶しています。

2. 計量を行い、計量値を印字します

レシートがセットされているか確認してください。

計量物を計量皿にのせます。

- ・ 自動印字の場合、自動的に計量値を印字します。
- ・ 手動印字の場合、**印字** を押して印字します。

日付 計量値
95- 2-21
1 0.95 kg

3. 小計を印字します

**小計
印字**

- ・ 毎回印字の計量値を小計して印字します。
 - ・ 電源を入れてから、または前回の小計より後に印字された計量値を小計します。
- 注意 ・ 電源を切ると、それまで記憶していたデータは消えてしまいますので、ご注意ください。
- ・ 一度小計すると、それまでの記憶データはクリアされますので、ご注意ください。

●参考 ・ 何ものせていない状態で「印字」を押すと、空送りします。

95- 2-21
1 0.95 kg
2 0.90 kg
3 1.05 kg
4 1.00 kg
5 0.85 kg
6 1.15 kg
7 1.10 kg

7 7.00 kg
計量した 計量値の合計
個数

4. カウンティングモードの場合

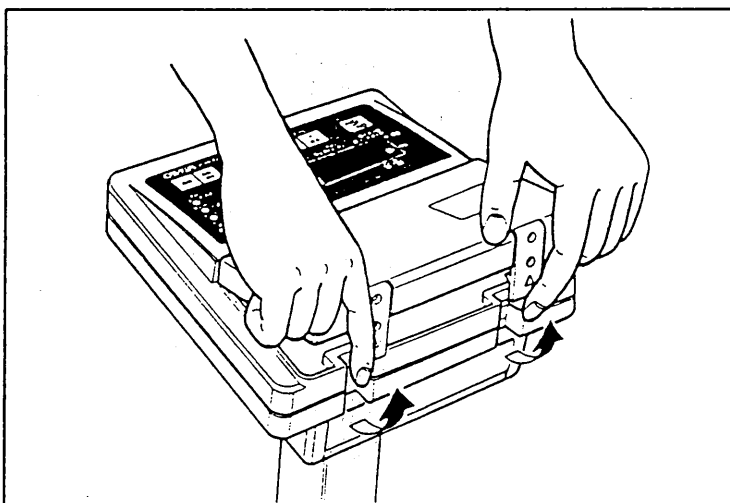
- ・ カウンティングモードでは、個数を印字します。

95- 2-21
1 100 PS
2 120 PS

レシートの交換

レシートが残りわずかになると、ピンク色に塗られたレシートが出てきます。計量・印字を一度中断して、レシートを交換してください。

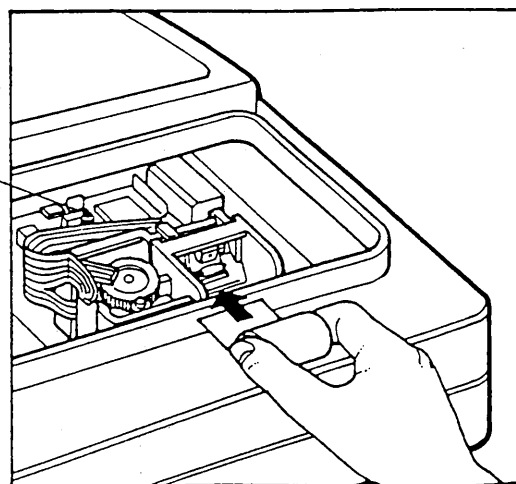
1. レシート発行口部分のカバーを開け、レシートを外します。



⇒図のように表示部後部の2ヶ所を指で引き上げてカバーを取り外します。


2. 新しいレシートをプリンターに挿入し、空送りスイッチを押すと、レシートがプリンターに引き込まれ、セットされます。

空送りスイッチ




3. レシートが発行口から出るように、カバーをセットしてください。

6. 故障かな?と思ったら

-  を押しても、表示がつかない

⇒電源プラグがAC-100Vのコンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。

-  を押した時、表示チェック後、「0」表示にならない

⇒ハカリを安定した床面または台にのせてください。
⇒ハカリの上に物がのっていないか確認してください。
⇒水平調整脚が浮いていないか確認してください。
⇒強い風が直接当たらない場所に置いてください。

- 重さ表示がチラチラ変わる


⇒ハカリを安定した床面または台にのせてください。
⇒水平調整脚が浮いていないか確認してください。
⇒強い風が直接当たらない場所に置いてください。
⇒商品が支柱にさわっていないか確認してください。

- カウンティングモードで、個数が点滅表示する


⇒1個の重さが計数可能重さ以下です。
計数誤差がでるおそれがありますので、使用しないでください。

- ひょう量切替えができない


-  を押しても、上・下限値設定モードの表示にならない

-  を押しても、カウンティングモードの表示にならない

⇒ゼロ点マーク (◀) を確認してください。

表示されていないときは  を押してください。

⇒風袋引中でないか確認してください。

風袋引中マーク (◀) が表示されているときは、 を押し、解除してください。

- プリンター内蔵タイプで、レシートが発行しない

⇒プリンターカバーを開け、レシートが正しくセットされているか確認してください。

7. 標準仕様

| 型 式 | ARX-150K | ARX-30K |
|--------|--|--|
| 計量方式 | 電気抵抗線式 | |
| ひょう量 | 150kg 60kg 30kg | 30kg 15kg 6kg |
| | 切替操作により任意選択可能 | |
| 最小表示 | 150kg ⇨ 50g (0.05kg) 60kg ⇨ 20g (0.02kg) 30kg ⇨ 10g (0.01kg) | 30kg ⇨ 10g (0.01kg) 15kg ⇨ 5g (0.005kg) 6kg ⇨ 2g (0.002kg) |
| 計量皿寸法 | 幅350mm×奥行500mm | 幅330mm×奥行310mm |
| 表示方式 | 蛍光表示 | |
| 表示内容 | 重量(個数) 5桁 ゼロ点マーク(◀) 風袋引中マーク(◀) | |
| | 《LED表示》 チェッカーマーク [多い(橙)・OK(緑)・少ない(赤)] ひょう量マーク(緑) カウンティングモードマーク(橙) | |
| 風袋引き範囲 | 150kg ⇨ 149.95kgまで 60kg ⇨ 59.98kgまで 30kg ⇨ 29.99kgまで | 30kg ⇨ 29.99kgまで 15kg ⇨ 14.995kgまで 6kg ⇨ 5.998kgまで |
| 本体重量 | 18kg (プリンター内蔵時 19kg) | 11kg (プリンター内蔵時 12kg) |
| 消費電力 | 6W プリンター連動時8W | |
| 使用電源 | AC100V±10V 50/60Hz | |

新光電子株式会社

本社・東京営業部 〒113-0034 東京都文京区湯島3-9-11 TEL03-3831-1051 FAX03-3831-9659
つくば事業所 〒304-0031 茨城県下妻市高道祖4219-2 TEL0296-43-2001 FAX0296-43-2130
関西事業所 〒651-2132 神戸市西区森友2-15-2 TEL078-921-2551 FAX078-921-2552
名古屋営業所 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-6轟ビル TEL052-586-5020 FAX052-586-7460

本機AR^X_Bを使用する前に行う項目

【1】『なぜ地区設定を行うのか?』

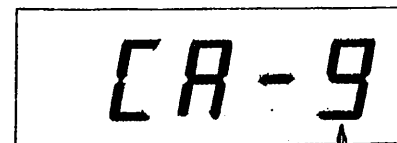
緯度・経度や海拔高度の差による重力加速度(G)の影響によって、ハカリの数値も多少かわります。
地域による補正を行う事で、より正しく量れます。

当器物の出荷時での地区設定値は【-9 10】になっております。

| | | |
|----|----|--|
| -9 | 10 | 神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川 |
|----|----|--|

上記以外の地区でお使いのときは 裏面の [使用地区の設定変更] に従って該当の値に変更下さい。

表示部



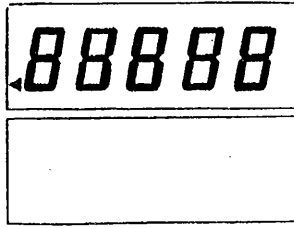
表示数値

【2】表示数値と該当する使用地区との関係

| 表示数値 | 地区番号 | 使用地区 |
|------|------|--|
| -0 | 1 | 北海道 (宗谷、留萌、網走、根室、釧路、支庁管内) |
| -1 | 2 | 北海道 (上川、空知、石狩、後志内、支庁管内) |
| -2 | 3 | 北海道 (檜山、十勝、日高、胆振、豊島、支庁管内) |
| -3 | 4 | 青森 |
| -4 | 5 | 岩手、秋田 |
| -5 | 6 | 宮城、山形 |
| -6 | 7 | 福島、茨城、新潟 |
| -7 | 8 | 栃木、富山、石川 |
| -8 | 9 | 群馬、埼玉、千葉、東京、福井、京都、鳥取、島根 |
| -9 | 10 | 神奈川、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、大阪、兵庫、奈良、和歌山、岡山、広島、山口、徳島、香川 |
| -A | 11 | 愛媛、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、八丈支庁管内 |
| -b | 12 | 熊本、宮崎 |
| -c | 13 | 鹿児島 |
| -d | 14 | 小笠原支庁管内 |
| -E | 15 | 鹿児島名瀬市、大島郡 |
| -F | 16 | 沖縄 |

※使用地区の地区番号と地域区分は計量法によって定められています。

使用地区の設定変更



全点灯 を押しながら キーを押し

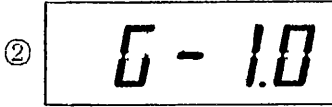
全消灯 表示が消えてから キーを放し キーを放す



[使用地区を選択するモード]

キーを押す毎に表示値が変わる。

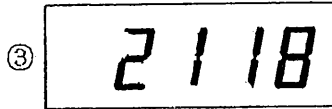
現在の選択値 対応とする表示に成るまで押し進める



[スパン調整時での秤量値を選択するモード]



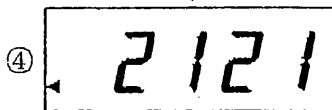
とばして先へ進む。



[A/Dコンバータ 生データの表示]

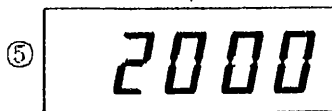


とばして先へ進む。



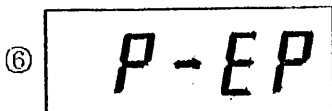
[零点の記憶値を表示するモード]

計量皿に何も載って無いことを確認して キーを押して下さい。

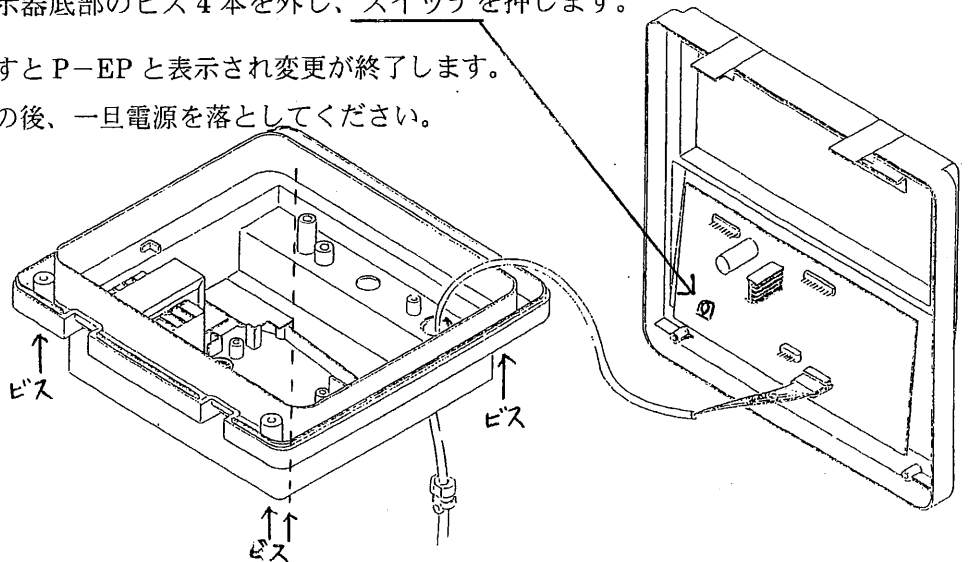


[零点の再記憶]

表示器底部のビス4本を外し、スイッチを押します。



押すとP-EPと表示され変更が終了します。その後、一旦電源を落としてください。



仕様変更のお知らせ

この度、ARX・ARBシリーズの機能アップのため、表示部を支持する回転ブラケットの仕様を変更致しました
従いまして、取扱い説明書 P1下部を、訂正致します

表示部の 角度調節

表示部を見やすい角度に調整します

